

新卒者研修「静脈注射Ⅲ-a」

～安全で確かな静脈注射を身につけよう～

2月7日（木）～8（金）に、新卒者を対象に静脈注射Ⅲ-aの研修を実施しました。研修では末梢静脈留置針を安全に挿入するために、末梢静脈注射実施基準・実施マニュアルを基に腕モデルを使用し演習を行いました。研修者が患者役、看護師役となり、必要物品の準備、患者確認、患者さんへの説明、血管の選択、刺入、固定方法、剥がし方の一連の手順を確認しながら実践しました。

※インフルエンザ予防でマスクをしています。

看護職キャリア支援教育担当看護師長による「末梢静脈留置針を安全に挿入するために」の講義、皮膚排泄ケア認定看護師による、「スキンケアを予防するテープの貼り方、剥がし方」に関する講義を受け演習に臨みました。



研修者同士で腕を曲げた状態でテープを貼付し、動かすことで皮膚が引っ張られる実感やテープの正しい剥がし方を体験しました。



末梢静脈注射を実施前には、必ず患者さんに必要性や方法を説明します。研修者は患者さんにわかりやすい言葉で丁寧に説明を行っていました。



研修者は、マニュアルで穿刺部位の選択や穿刺方法(角度や穿刺時の注意点など)を一つ一つ確認しながら熱心に演習に取り組んでいました。



教育担当者の指導を受けながら安全で正しい手技を心がけて実施していました。



穿刺部位の選択の際に留置針の長さをイメージし、蛇行していない部分を選択することへの難しさも感じていました。

